

令和5年度 鶴見地区 幼保小教育交流事業 活動報告

—持続可能な交流再開に向けて—

鶴見地区 実行委員会



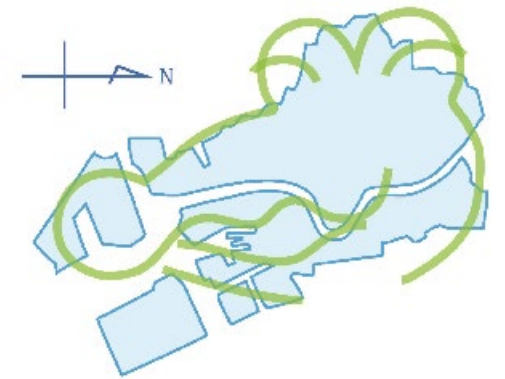
鶴見地区の交流事業の特色

- 鶴見区内19ブロック間で交流を実施
- ブロックごとの交流を中心に、異なる校種の教職員や子ども同士がお互いの顔の見える関係を作り、有機的に繋がれる活動を目指している。
- 主な進学先となる小学校と、幼稚園、保育園がお互いの環境や教育内容について、知ることを大切にしている。

交流事業の対象となる園・学校数

小学校	2	2	
幼稚園	1	5	
保育園	1	1	0
こども園	3		

鶴見区幼保小の交流は40年以上にわたる歴史がある



鶴見区のマスコット
わっくん

鶴見地区 実行委員会

- 小学校 2、幼稚園 6、保育園 2（公立 1、私立 1）
実行委員会は 5 月、6 月、9 月、10 月、1 月に開催。

内容

- 令和 5 年度の活動振り返り
- 今年度の方針の策定
- 健やか子育て講演会の再開
- 教員、子ども同士の持続可能な交流
- ブロックの活動費の使用用途について



令和 5 年度は各地域の感染状況を考慮しながら、ブロックや小学校単位による職員同士の交流、子ども同士の交流の再開を目指した。

健やか子育て講演会

主観的ウェルビーイングランキング 2019

世界	生活評価(現在)	生活評価(5年後)	アジア	生活評価(現在)	生活評価(5年後)
1位	フィンランド (7.78)	ウズベキスタン (8.75)	1位	台湾 (6.54)	モンゴル (8.09)
2位	スイス (7.69)	ジャマイカ (8.57)	2位	シンガポール (6.38)	インドネシア (7.84)
3位	デンマーク (7.69)	ブラジル (8.36)	3位	フィリピン (6.27)	フィリピン (7.35)
4位	アイスランド (7.53)	サウジアラビア (8.25)	4位	タイ (6.02)	カンボジア (7.16)
5位	ノルウェー (7.44)	UAE (8.21)	5位	日本 (5.91)	ラオス (7.12)
6位	オランダ (7.43)	キルギス (8.19)	6位	韓国 (5.9)	ミャンマー (7.04)
7位	ルクセンブルク (7.4)	パーレーン (8.13)	7位	モンゴル (5.56)	シンガポール
8位	スウェーデン (7.4)	デンマーク (8.12)	8位	ベトナム (5.47)	タイ (6.96)
9位	イスラエル (7.33)	モンゴル (8.09)	9位	ネパール (5.45)	ベトナム (6.89)
10位	アイルランド (7.25)	スイス (8.03)	10位	マレーシア (5.43)	バングラディシュ (6.88)

講師 ベネッセ教育総合研究所 研究員 庄子寛之先生

鶴見区 健やか子育て講演会

保護者も 子どもも 先生も 幸せになるために

講師：庄子寛之さん
ベネッセ教育総合研究所 研究員
元東京都立小学校 指導教諭

あなたは... あなたのま... 素晴らしい!

宿題をしない... 片づけ... 約束を守らない... ゲームばかりして...
あなたの「子ども」のためは本当に「子ども」のためになっていますか？

伸びる子の... 親にある共通点... とは？

日時：令和5年11月29日(水)
9:30受付 10:00開始(約1時間)

会場：鶴見公会堂 鶴見区豊岡町2-1-1
(鶴見駅西口下りすぐ フーガ1 6階)

対象：子育て中の保護者・教職員
(幼稚園・保育園・小学校・未就園児の方)

当日の会場受付も可能です

QRコードを読み取り、お申し込みください

「先生方の先生」が... 授業で実践してきたノウハウを、今日から子育てに生かしてみませんか？

「つい口出ししたくなる」... 「子どものやる気を引き出す」... 大きなチャンス!

こちらは ↑ 庄子さんのご著書です

主催：横浜市幼保小教育交流事業鶴見地区実行委員会

お問い合わせは、所属の各校・各園、または、鶴見地区実行委員長 (寺尾幼稚園) 亀井

11月29日 鶴見公会堂にて4年ぶりに開催 参加者：67名。
講師：庄子寛之氏 「保護者も子どもも先生も幸せになるために」
CHAT GPTを始め最新の技術も用い、保護者や教員の双方向参加型の講演会を実施。保護者や教職員と対話しつつ進行し好評を博した。

元小学校教諭 庄子寛之氏による 幼稚園での「授業」



子ども達だけでクラスの出席人数を数え、椅子を動かして円形に座る。男女交互に座るにはどうすれば良いのか？など、自分達で考えて声を掛け合いました。

「拍手のリレー」円形に椅子を並べて座り、一人ずつリレー形式に手をたたき、時間内に一周するゲーム。皆で話し合い「もっと円を小さくしたら？」など次々に意見が出てきました。試行錯誤しながら、ラスト1回で見事に目指していたタイムを達成できました！

終始子どもの声に耳を傾けながら、
「こんなに難しいことができるのなら小学校に行っても大丈夫！」 あたたかいエールを頂きました。

末吉ブロック活動報告

末吉小学校 あさひ台幼稚園 末吉にこにこ保育園 鶴見どろんこ保育園



【5月】3施設で相談会。

【7月】あさひ台幼稚園・末吉にこにこ保育園

色水遊び 図工「カラフルいろみず」の学習に園児さんをご招待し、一緒に色水遊びを楽しみました。児童から積極的に声をかけて、なかよく活動することができました。



【10月】

①あさひ台幼稚園と三ッ池公園で散歩

②あさひ台幼稚園・末吉にこにこ保育園とミニ運動会

【12月】

あさひ台幼稚園・末吉にこにこ保育園・鶴見どろんこ保育園と秋まつり



生活「きせつとあそぼう～あき～」で秋祭りを行いました。4クラスで秋の店を開き、園児さんと児童がたくさん交流できるようにしました。いろいろな遊びやゲームで楽しく遊ぶことができました。

【2月】4園を招待し5年生と小学校体験を行う予定。

☆様々な制限が緩和され、活動内容や回数をここ数年より増やしました。

寺尾ブロック活動報告

寺尾小学校 飯山幼稚園



あいにくの雨の中、先輩の1年生との交流会へ、元気に並んで寺尾小学校に向かいました。4月からの集団登校の練習になりました。



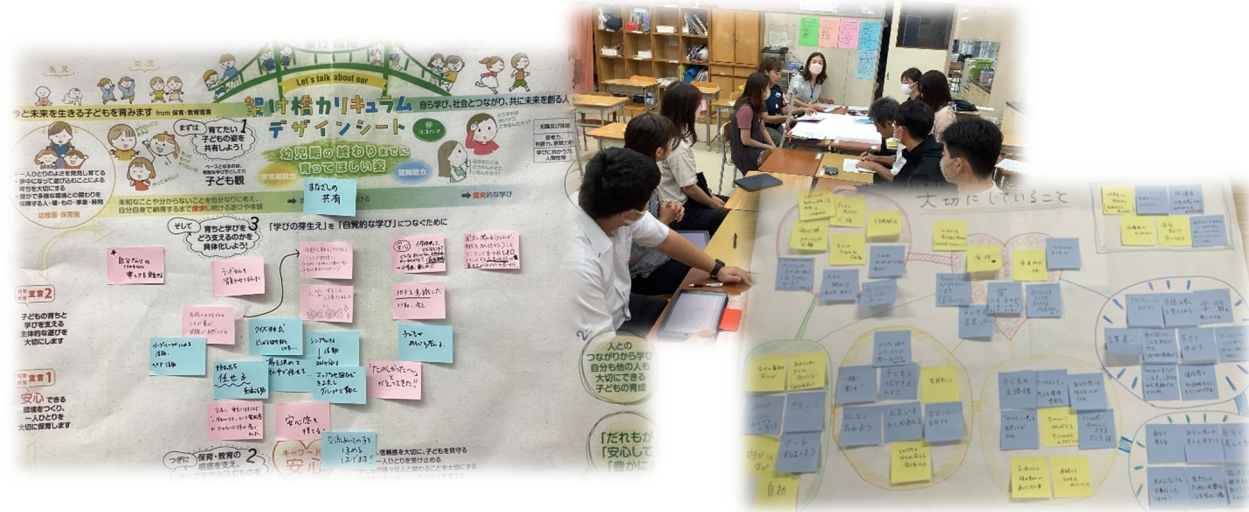
小学校の先生から、学校の紹介がありました。幼稚園の園児も興味津々で見っていました。



小学生から、学校生活の様子や様々な発表がありました。1年生になって、できるようになったことの発表が印象的でした。最後に手作りのメダルを全員にかけていただきました。

上寺尾ブロック 活動報告

上寺尾小学校・やよいヶ丘幼稚園・馬場保育園



4月・7月・9月・1月【職員交流】

職員同士の意見交流を継続して行いました。授業・保育の様子を見合ったり、子どもとのかかわりの中で大切にしていることを共有したりすることで、育成を目指す子どもの姿を明確にしました。

「子どもへのまなざしの共有→変容」

12月【1年生 幼保小交流会】

ランドセルや白衣の着用体験をしたり、カプラや絵本の読み聞かせをしたりして交流しました。

自分たちの学校生活での楽しかったことや経験を活かした活動ができました。

遊びが学びにつながっていく

馬場ブロック活動報告

馬場小学校 寺尾幼稚園



小学校と幼稚園の先生同士で、子ども達の成長を情報交換し、学校探検の打ち合わせを実施しました。幼稚園の遊びや活動で得た経験が、進学後の生活や学習の具体的なイメージとして共有されました。



掃除体験コーナー、チョークで描いて黒板消しで消す、白衣を着用して給食の配膳の疑似体験、ランドセルとお仕度、机に座って勉強や楽器の体験ができるなど、学校が楽しみになるコーナーが盛り沢山でした。



校内を引率し説明する1年生の姿はとても頼もしく感じられました。家庭科室では調理実習を見学させて頂き園児にとって大変貴重な体験に！「明日も学校に来たい」など、進学を心待ちにする声が聞かれました。

旭小学校ブロック活動報告

旭小学校 と 鶴見どろんこ保育園



委員会活動での話題提供がきっかけとなり、6年生の出身園である保育園に声をかけ、園で飼育しているヤギを、園児の皆さんが連れてきてくれました。



園児の皆さんから、「こんな子だから優しくしてね」とヤギへの配慮をお願いされました。児童は、ヤギにとってのよりよい接し方を学びました。



事前に、園にヤギが食べられるものを尋ねておき、学校給食としては提供できない部分を調理員さんからもらって確保しました。ヤギに心を込めて差し上げました。

架け橋期の教育充実に向けた座談会 旭小学校の呼びかけで実現

- ・令和6年1月12日、旭小学校の呼びかけで、旭小、獅子ヶ谷小、馬場小、上寺尾小、東台小、聖ヨゼフ学園小の教職員、上記6校に進学する幼稚園、保育園の職員が交流を実施。
- ・学校別に分かれたテーブルにて、小学校、幼稚園、保育園、認定こども園の教職員がグループワーク、相互の情報交換を実施



⇒学校と園の教員同士が「顔の見える関係」となり、子ども同士の交流再開の契機に・・・

接続期についての座談会 活動報告

北寺尾周辺の小学校6校 幼児教育施設15園



1月12日、旭小学校近隣の市立小学校5校、私立小学校1校、幼児教育施設15園の推進者70名での座談会を開催しました。

会場＝旭小学校

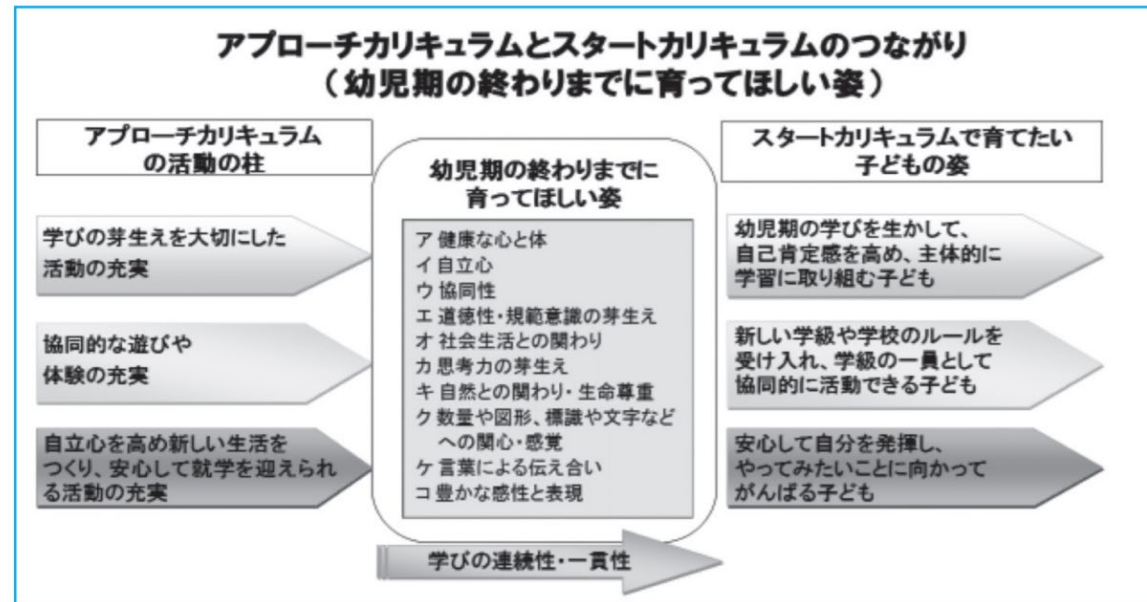


小学校毎のテーブルに、幼児教育施設の方々に加わっていただく形式で、各校、各園で大切にしている子どもの学びについて、たくさんの情報を共有しました



コロナ禍により、幼保小間での行き来が滞っていたこともあり、多くの学びがありました。今後、気軽に声を掛け合う関係になるための第一歩になりました。

次年度に向けて



R5年度の上寺尾地区を始めとした推進地区の成功事例を、速やかに各地域のブロック活動へ反映させていく。

現代の保護者、教職員のニーズにあった交流活動のあり方の検討を重ねていくことが求められる。

教職員同士の交流がより円滑に行われるため、全体会等の早期の実施が必要。